

一般質問

大田原市地域応援  
商品券について



伊賀 純 議員



大豆生田春美 議員



带状疱疹ワクチン  
の予防接種につい  
て

**質問**…带状疱疹ワクチンの予防接種費用の一部助成をお願いしたいと思いますが、本市の考えを伺います。

**答弁**…本年4月から助成を開始した自治体は真岡市、那須塩原市、さくら市など7市町です。その中3市におきましては、50歳以上の接種対象者のうち、約5%の方がワクチン接種を希望される助成の対象者であること

**質問**…応援券事業は国の交付金事業ですが、各市町が工夫を凝らし配布しています。本市では、2回続けて市民全員に行き渡る配布方法を取られましたが、今後発行機会がある場合、プレミアムをつけた方法を取られるのか、市の考え方、方向性を伺います。  
**答弁**…物価高騰対策のような全市民に影響が及ぶ事象について

を想定しており、10月末までの実施状況はその想定範囲内で推移している状況です。以上のことから、本市の接種対象者に占める割合も他市同様と想定した場合、必要となる経費の積算も可能となりました。このような先進例を参考とし、令和6年4月からの実施に向けて予算要求書が提出されており、予算編成の中で最終的に判断していき

は、全市民一律配布が望ましいと考えています。  
**質問**…那須塩原市でも10月実施で商品券が販売されました。とても工夫がされていて1000円券が大型店で使用でき、1000円券と500円券とが市内事業者個人店、特に小売店や飲食店で利用できる券と限定されています。市民と個人事業者をつなぐ第一歩、地域消費の支

ます。  
**質問**…具体的な予算要望内容を伺います。

**答弁**…対象年齢は50歳以上としており、助成金額は生ワクチンが4千円、不活化ワクチンは1万円までという上限で予算要求はしています。

え、また、地域活性化の目的から、大型店舗と個人事業主店舗の使用区分ができる方策を取り入れていくべきと思いますが、市の考えを伺います。

**答弁**…今後商品券事業を実施する際は、那須塩原市の方式も考えていきます。

**質問**…事業の締めとしてアンケートを取る計画があるか伺います。  
**答弁**…検討させていただきます。